

まなびや

地元春江の教育遺産

春江小学校「大型掛け時計」

昭和27年8月講堂新築落成記念品



昭和32年の研究集会での講堂(★大時計)

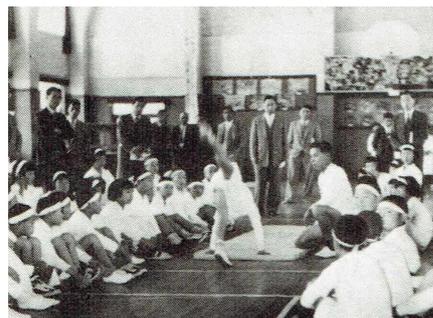
この度、春江小学校の講堂に設置されていた「大型宮形掛け時計(ゼンマイ機械式)」が、江留上文教発祥の地である当館に寄贈されました。67年前の時計が、玄関に設置され時を刻んでいます。



昭和42年の記念式典での講堂(★大時計)



当時の授業風景



当時の講堂での授業風景

世相と教育の移り変わり30年史▼3/2/5/6まで



春の特集展示 開催中 さようなら平成

昭和22年新学制公布時、春江町は東・西・南の三小学校で発足しました。昭和23年6月の福井地震で、町内全ての学校が倒壊。復興に際して、西小学校は存続、東・南小学校を合併統合して現在地に移転、春江小学校と改称。直ちに、普通教室から順次建築に取りかかる。昭和27年8月、全ての工事完了。当時、文部省のモデルケースとして県下初の鉄筋コンクリート造りの講堂が完成。その折に、地元春江東婦人会より「大型掛け時計」が寄贈されたようです。昭和53年に体育館が新築されるまで、設置されていました。

春江小学校当時の概要

江留上文教発祥之地とは



当館敷地は、▼春江東尋常高等小学校(大正6年設立)▼春江南尋常小学校(昭和10年設立)▼春江中学校(昭和22年設立)▼春江工業高校(昭和37年設立)跡地として、江留上文教発祥之地とされています。(昭和47年に春江町江留上連合区会が石碑建立、昭和10年開校記念に二宮像設置) **資料募集** 当館では、戦前戦後から現在までの教科書、教材・教具などの教育資料を収集しています。学校での廃棄備品なども、一度ご連絡ください。